

【3】実施事業内容

I 公益事業

<物販事業の総括>

令和4年度の物販については、前年度に引き続きコロナの感染拡大と縮小の波の影響を受けながらも、下半期は感染状況の落ち着きによる人の動きが増えたこと、併せて、積極的に販売促進策を講じてきた成果により、売上額はコロナ禍前の平成30年度を上回る結果となりました。

◆**令和4年度販売総額 213,931,824円 ⇒ 粗利益額 52,421,918円**
(令和3年度販売総額 149,924,878円 ⇒ 粗利益 36,333,730円)
(平成30年度販売総額 196,158,288円 ⇒ 粗利益 46,430,580円)

1. 重点施策

(1) 外商の強化と取引先との連携

定年退職のプロパー職員に代えて、民間百貨店外商経験職員1名（嘱託職員・外商チーフ）を採用し、職員3人からなる外商チームを編成し、知識と経験を活かした営業対象の拡大と従前の取引先の掘り起こしなど、受注獲得に向けた積極的な営業活動により、物販収入はコロナ禍前の実績を大幅に超える成果を上げました。

(2) EC、SNSを活用した広報PR

当振興センターの取組みを広く周知するために、令和3年度に構成自治体の広報紙に紹介記事を掲載いただいたことに続いて、令和4年度は当振興センターのホームページと各自自治体の公式ホームページのリンクやSNSの活用による情報発信の協力を働きかけました。また、マスメディア等へのアプローチも可能な限り行いました。

更に、規模は縮小されて東京等で開催された地元出身者の同窓会や総会等に、ギフトカタログやオンラインショップのQRコードを掲載したチラシ等を郵送したり、メールを送るなどしました。

なお、広報PRに関して、以下のように様々な機会と媒体も活用して、積極的に広報PRを実施しました。

① SNSの活用とホームページ、Twitterなど

- ・ホームページでの販売企画イベントの事前告知
- ・TwitterやInstagramによるイベント等の当日の様子などの写真掲載

② 構成自治体等が実施するイベント会場での出店販売とPR（P4～P5参照）

③ マスコミを活用したPR

- ・KBCの「ふるさとWISH」やフジテレビの「爆買い☆スター恩返し」で芸能人の買い物来店
- ・NHK昼のニュース「酒フェスタ代替事業」のPRのためテレビ出演
- ・KBCラジオ「アサデス。ラジオ」生出演（地場製品のプレゼントなど）
- ・新聞への関連記事掲載 他

④デジタルサイネージの活用

- ・久留米シティプラザや久留米市役所本庁1階と市民センター

⑤パンフレットやチラシの作成・配布

- ・物産館近隣のホテルとコラボしたチラシを作成し宿泊客等に配布
- ・いい日地場産の日（毎月11日は11%OFF）のチラシや④のチラシ版を作成して公共施設等のラックに設置

(3) 顧客サービスの見直し

当振興センターの3つの物産館において、それぞれの立地条件や特性に留意しながら、季節やイベント等に合わせた品揃えを心がけて展示販売をしました。

また、ホームページとのリンクによる情報発信については、各物産館からの独自情報をタイムリーかつ効果的な発信するために、SNS関係研修を職員に受講させ、現在は随時Twitterの発信をしています。

2. 地場産品需要開拓・情報収集整理提供事業

(1) 各種物産展への出展

令和4年度は、コロナ禍であっても徐々に日常生活が戻り、各種物産展も開催されることが増えてきました。当振興センターでは、構成自治体等が開催するイベント会場の場面に可能な限り出店して販売PRに努めました。

出展件数 28件（前年度 18件） (単位：円)

	日付	イベント名	売上額
1	5月4日 ～5月5日	道の駅くるめ販売会〔屋外イベント広場〕	175,760
2	6月18日 ～19日	道の駅くるめ販売会〔屋外イベント広場〕	461,375
3	7月9日 ～10日	日本小児看護学会〔福岡国際会議場〕	118,201
4	7月14日 ～15日	日本婦人科学会〔久留米シティプラザ〕	294,930
5	8月28日	KBC オーガスタゴルフトーナメント〔芥屋ゴルフ倶楽部〕	26,270
6	9月3日	めくるめく宇宙博〔久留米シティプラザ〕	21,220
7	9月3日	南筑高等学校祭〔委託出展〕	31,141
8	9月10日	東国分校区文化祭〔東国分コミュニティセンター〕	51,400
9	9月25日	おおの山城大文字まつり〔大野城市役所前まどか広場〕	20,110
10	10月2日	福岡県久留米フェア	317,666

	～30日	〔八戸地場産センター（青森県）/委託出展〕	
11	10月8日 ～9日	今治地場産センター「せんいまつり2022」 〔愛媛県/委託出展〕	66,474
12	10月15日 ～16日	筑後川のめぐみフェスティバル 〔福岡市役所西側ふれあい広場〕	96,579
13	10月22日 ～23日	こおりやま産業博 〔ビッグパレットふくしま（福島県）〕	137,935
14	10月22日 ～23日	2022久留米かすり蔵出し市〔地場産くるめ〕	1,804,144
15	10月22日 ～23日	日本皮膚科学会〔久留米シティプラザ〕	34,877
16	10月20日 ～30日	西鉄縁線駅みやげ店舗〔西鉄天神駅売店/委託出展〕	67,224
17	11月3日	ゆるっとキャラパーティー 〔グローバルアリーナ（宗像市）〕	13,240
18	11月12日 ～13日	ふるさとくるめ農業まつり〔久留米百年公園〕	78,420
19	11月16日 ～17日	福岡物産展『よかところ筑後物産展フェア』 〔天神地下街イベントコーナー（福岡市）〕	460,469
20	11月26日	久留米つつじマーチ〔久留米中央公園〕	51,310
21	12月2日 ～4日	燕三条じばさん感謝祭2022〔新潟県/委託出展〕	40,878
22	12月3日	日本循環器学会〔久留米シティプラザ〕	35,855
23	12月10日 ～11日	2022じばさん冬の市〔桐生センター（群馬県）/委託出展〕	20,736
24	12月10日 ～11日	道の駅くるめ販売会〔研修室〕	205,460
25	1月28日	九州地連介護・福祉集会〔久留米シティプラザ〕	67,380
26	2月18日 ～19日	城島酒蔵びらき〔サテライト会場（三潁総合庁舎駐車場）〕	148,480
27	3月18日 ～19日	久留米絆のネットワーク展 〔藍・愛・で逢いフェスティバル〕	4,319,373
28	3月26日	久留米広域連携中枢都市圏物産展〔久留米シティプラザ〕	40,195
		合計	9,207,102

（2）国際ギフトショーへの出展支援

国内最大級の商談会『2023春国際ギフトショー』への地元企業の出展支援を行い、金額で昨年度の1.3倍の商談成立に寄与しました。

開催日	令和5年2月15日（水）～17日（金）
開催場所	東京ビッグサイト
参加企業	3業者
出展品目	255点（久留米織、寝具等）
商談件数	106件
商談成立	34件（予想商談額 119,879千円）
来場者数	229,968人

（3）筑後の酒の振興

全国有数の酒処である久留米市を中心とした『筑後の酒』の振興を図るために、新型コロナウイルス感染症拡大により中止した『筑後SAKEフェスタ』の代替事業として『新酒飲み比べセット』を数量限定で地場産くるめ3店舗とオンラインショップでPR販売しました。

参加酒蔵	21社（前年度 15社）
販売期間	令和5年2月14日（火）～3月15日（水）
販売数	松（全蔵15本）セット 78セット
	竹（酒4＋焼酎2本）セット 88セット
	梅（酒6本）セット 258セット
	きらり（酒3本）セット 61セット
	わくわく（酒、焼酎、ワイン各1本）セット 20セット

（4）いい日地場産の日の開催

地場産品の魅力をアピールするために、毎月11日を『いい日地場産の日』に定め、地場産品の割引販売や生産者による直接販売を行いました。

また、新型コロナウイルス感染防止対策をしっかりと行いながら、体験教室も開催しました。

開催場所	地場産くるめ物産館3店舗 （JR久留米駅店、六ツ門店については割引販売のみ）
販売	特産品コーナー（久留米餅、ラーメン、銘菓、木工芸品等） JAくるめ女性部さわやか市による“とれたて野菜”の販売 手作りパンの販売
体験教室	ミニ保冷ケース、小物入れ、ヘアバンド、干支作り、ひこうきポーチ
来場者数	約4,100人（前年度 約2,800人）

3. 新商品開発支援事業

（1）地場産品パッケージの開発支援

当振興センターの強みを活かした新商品開発又は販路開拓を行いました。

①大吟醸と純米吟醸のプレミアム地酒飲み比べセット販売

（6銘柄（300ml）をネット限定200セット）

- ・セット売上 649,000円 (@5,500円(税込)×118セット)
- ・単品売上 117,308円 (@550円~1,430円(税込)×161本)

②新たな取扱商品の開拓

取扱商品の幅を広げ、魅力ある品を提供すべく、当振興センターとして初の農産物に挑戦するなど、以下の商品を新たに販売開始しました。

- 食品 ➡ マンゴー、ハラーメン、明太子、鍋物セット など
(シャインマスカット、巨峰、梨、柿などは調整止まり)
- 衣類等 ➡ ガーゼハンカチ(赤ちゃんの城) など

③新規開発商品の販路開拓支援

(株)久留米リサーチ・パークで研究開発され、商品化された7社の製品をPRして、販路開拓を支援するために、東合川本店で通常販売するとともに、いい日地場産の日に担当職員による対面販売が実施されました。

4. 久留米絣等振興事業

(1) 久留米絣資料館の活用

久留米絣の普及・PRを推進するために、見学希望者の方に、久留米市文化財保護課等と連携して、久留米絣の製造工程や作品の説明及び手織の実演を行うとともに、イベント時に特別PR展示を行いました。

来場団体数	23団体(前年度 12団体)
来場者数	約2,500人(前年度 約2,200人)

(2) 藍・愛・で逢いフェスティバルとのタイアップ事業の実施

3月開催の『藍・愛・で逢いフェスティバル』にあわせて、久留米手織り体験教室及びプロカメラマンによる記念写真撮影『かすりでハイ・ポーズ』を、新型コロナウイルス感染防止に配慮のうえ実施しました。

開催場所	地場産くるめ
開催日	令和5年3月18日(土)~19日(日)
来場者数	約2,100人(昨年度 3,000人)
売上額	①絣事業者出店総額 15,106,488円 ②地場産東合川本店(2日間) 1,324,169円

(3) 新たな需要開拓に向けた支援

久留米絣協同組合が久留米絣の需要開拓のために開催した展示会に対する補助金支給や、10月と3月に当振興センターの総合展示場で開催した久留米絣の2大イベントの開催に関する支援を行いました。

また、絣組合からの相談を受け、絣の医学的な利活用の可能性を拡大すべく、久留米絣を見たり、触れたりすることでの癒し効果などを検証する場として、長生園への働きかけ(橋渡し)もしました。

5. 地場産品展示販売事業

(1) 地場産くるめ物産館『JR久留米駅店』

コロナ禍が落ち着き、ビジネスや観光による来店者が増加しましたが、世界情勢による物価高や人材不足により、商品確保が難しい時期がありました。しかし、学会やスポーツイベントの際には、店舗間で入荷商品の調整等を行いました。最終的には、前年度比約150%、コロナ禍前のH30年度比約94%の売上となりました。

売上金額 105,061,711円 **レジ通過者** 77,387人
 (令和3年度 70,119,609円 レジ通過者 58,014人)
 (平成30年度 112,286,003円 レジ通過者 89,858人)

《分野別・売上ベスト5》

分野名	売上金額(円)	割合(%)	製造元
菓子類	47,663,313	45.4	構成自治体 全域
麺類	17,686,820	16.8	
食品(麺類除く)	13,342,187	12.7	
酒・焼酎類	5,433,945	5.2	
茶	4,613,893	4.4	

《商品別・売上ベスト5》

商品名	単価(円)	売上数量	売上金額(円)	製造元
くるめんべい(大)	1,080	3,643	3,934,440	久留米市
大砲ラーメン 4食入り	1,800	2,021	3,637,800	久留米市
くるめんべい(小)	540	6,577	3,551,580	久留米市
大砲ラーメン 2食入り	900	3,679	3,311,100	久留米市
えんどう豆かりんとう	410	6,827	2,608,494	久留米市

(2) 地場産くるめ物産館『六ツ門店』

久留米シティプラザで開催されるイベントや学会のお客様が増え、館内のサインページやチラシ、更にはホテルと連携した店舗チラシの配布などにより六ツ門店への誘客を図りました。また、3年ぶりに土曜夜市が開催され多くの人出があり、新規の来店者も増えました。夏場はイ草製品、冬場ははんでんなど季節商品の売り上げも好調でした。最終的には、前年度比約118%、コロナ禍前のH30年度比約109%の売上となりました。

売上金額 22,549,001円 **レジ通過者** 13,690人
 (令和3年度 19,088,521円 レジ通過者 12,117人)
 (平成30年度 20,732,286円 レジ通過者 15,481人)

《分野別・売上ベスト5》

分野名	売上金額（円）	割合（%）	製造元
菓子類	6,836,260	30.3	構成自治体 全域
久留米織・はんてん	3,100,448	13.7	
食品（麺類除く）	2,749,525	12.2	
久留米餅	2,266,296	10.1	
麺類	2,098,930	9.3	

《商品別・売上ベスト5》

商品名	単価（円）	売上数量	売上金額（円）	製造元
えんどう豆かりんとう	410	1,273	483,402	久留米市
くるめんべい（小）	540	778	420,120	久留米市
くるめん棒 1本	214	1,903	407,242	久留米市
ダルムチップス	500	689	344,500	久留米市
くるめんべい（大）	1,080	317	330,480	久留米市

（3）地場産くるめ物産館『東合川本店』

毎年恒例の餅シャツ受注会や藍・愛・で逢いフェスティバルの開催に加え、7月に夏のファッションウィーク、10月に久留米かすり蔵出し市など特別販売会を設けることでコロナ禍前の売上に戻ってきました。はんてんの複数枚購入や酒の飲み比べセット、ギフト商品のまとめ買いなど大口のご購入もあり、最終的には、前年度比約119%、コロナ禍前のH30年度比約117%の売上となりました。

売上金額 29,357,198円 レジ通過者 8,289人
 （令和3年度 24,586,623円 レジ通過者 7,344人）
 （平成30年度 25,051,479円 レジ通過者 7,099人）

《分野別・売上ベスト5》

分野名	売上金額（円）	割合（%）	製造元
久留米織・はんてん	7,975,276	27.2	構成自治体 全域
久留米餅	7,011,243	23.9	
菓子類	3,887,307	13.2	
酒・焼酎類	2,647,134	9.0	
麺類	2,570,837	8.8	

《商品別・売上ベスト5》

商品名	単価（円）	売上数量	売上金額（円）	製造元
くるめんべい（大）	1,080	477	515,160	久留米市
くるめんべい（小）	540	946	510,840	久留米市
えんどう豆かりんとう	410	1,019	395,258	久留米市
もんばん	13,464	25	336,600	広川町
多機能親子トート	6,380	52	331,760	久留米市

(4) 道の駅くるめ

委託販売先の道の駅くるめにおいては、随時の連携協議を踏まえて、「地場産コーナー」表示の掲示、コーナーレイアウトや商品の変更、屋外利用を含むイベントの開催などにより、地場産の第4番目の店舗と言えるほど、大幅な売り上げ増を実現しました。具体的には、前年度比約129%、コロナ禍前のH30年度比約140%の売上となりました。

売上金額 17,372,278円

(令和3年度 13,498,781円)

(平成30年度 12,440,126円)

《分野別・売上ベスト5》

分野名	売上金額 (円)	割合 (%)	製造元
麺類	6,344,359	36.5	構成自治体 全域
久留米織・はんでん	5,149,796	29.6	
菓子類	2,513,339	14.5	
久留米餅	1,243,084	7.2	
食品 (麺類除く)	570,149	3.3	

《商品別・売上ベスト5》

商品名	単価 (円)	売上数量	売上金額 (円)	製造元
大砲ラーメン 1食入り	410	2,219	909,770	久留米市
大砲ラーメン 4食入り	1,800	458	824,400	久留米市
大砲ラーメン 2食入り	900	852	766,800	久留米市
サクリスタン 6本入り	1,190	665	725,020	久留米市
らーめん八 1食入り	450	1,247	550,190	久留米市

(5) その他の販売促進の取り組み

①新たな委託販売先の確保

久留米大学の売店部門を管理する(株)久大エンタープライズとの協定締結により、大学での委託が可能になったほか、石橋文化センターや久留米総合スポーツセンター、久留米市以外の道の駅等での新たな委託販売について、短期的な販売や協議を行いました。実現には至らず、引き続き努力することになりました。

②構成自治体等からの受注

久留米市や外郭団体等が行う事業の中で、当振興センターが取り扱う地場産品使用の売り込みを外商やチラシの配布等により、売り上げ増につなげました。

その具体例は以下のとおり。

- a. 久留米市の競輪事業課、広報戦略課、交通政策課、長寿支援課、人事厚生課、北野総合支所など多くの部局の各種事業への地場産品の販売
- b. (公財)久留米観光コンベンション国際交流協会の誘客誘致(MICE)事業で対象団体の地場産品購入割引の制度導入

- c. (公社) 久留米広域勤労者福祉サービスセンター (K S C) の会員向けクーポン券 (地場産品対象) を R 3 年度に引き続き実施
- d. 福岡県商工部観光局観光政策課から受注

③ふるさと納税返礼品

久留米市のふるさと納税返礼品として、当振興センターからエントリーしている地場産品の入れ替えをしました。特に、地酒は蔵元毎の種類の飲み比べや複数の蔵元の飲み比べを 300ml や 4 合瓶で追加したり、地元野菜等を使用したお鍋セット等を新規に導入しました。

④久留米市消防団梯子乗り隊の法被受注

前年度からの継続で、有馬火消しの伝統を引き継ぐ梯子乗り隊の法被を伝統工芸品の久留米餅 (4 種類) で新調し、久留米餅の新たな需要を開拓しました。

II 収益事業

1. 重点施策

(1) 貸館・貸室事業 (総合展示場・会議室・研修室) の利益率の向上

新型コロナウイルス感染症の感染の波が繰り返される中で清掃とアルコール消毒を徹底し、施設利用者には安全安心な環境を提供しました。

また、貸館貸室のお得意様の利用継続や新規利用の開拓など以下の取り組みなどを実施しました。

- ①過去の利用者へのDMや電話での営業
 - ②久留米市公共施設予約システムへの登録と当振興センターホームページでの予約状況の公開
 - ③久留米市の商工所管部が年4回発行する「商工労働ニュース」や久留米商工会議所の月刊紙など関係団体向けの情報誌へのPR記事掲載
 - ④総合展示場や会議室等の利用促進を目的に作成したチラシの作成・配布
 - ⑤K S C ニュースへのチラシの折り込みや構成自治体や公共施設への配布
- 最終的な収益は、前年度比約 129%、コロナ禍前の H 30 年度比約 52% に止まりました。

総合展示場

延使用日数	86日 (前年度76日)
使用料	15,646,400円 (令和3年度 12,534,089円) (平成30年度 30,151,440円)

会議室

延使用日数	333日 (前年度251日)
使用料	2,375,890円 (令和3年度 1,739,815円) (平成30年度 4,326,588円)

研修室

延使用日数	68日（前年度 46日）
使 用 料	1,147,300円
	（令和3年度 702,240円）
	（平成30年度 1,581,768円）

冷暖房・電気等	4,321,547円（総合展示場、会議室合計）
	（令和3年度 3,248,287円）
	（平成30年度 8,799,841円）

2. 賃貸・喫茶事業

館内の事務室を地元組合等へ貸出すとともに、引き続きお客様サービスとして、東合川本館の内外に飲み物の自動販売機を設置、販売しました。

Ⅲ その他の取り組み

1. 東合川本館の老朽化に伴う対応方針の協議前の準備

当振興センター東合川本館は、昭和58年3月に竣工し、既に40年が経過しており、経年による建物や設備の老朽化が進んでいます。このことから、令和5年3月に建物の状態を久留米市の都市建設部の協力を得て建物診断の簡易確認（目視確認）を行いました。

今後は、この結果を踏まえて、東合川本館の長寿命化計画を策定し、改修工事のスケジュール（案）及び改修費（案）を整理したうえで、構成自治体と資金計画等を含む対応方針について、協議する必要があります。

2. インボイス制度導入への対応

令和5年10月から正式スタートするインボイス制度に対応するため、取引業者等との調整やシステム及びデータ移行作業等を行っています。

3. PCB 残留機器の廃棄処分

東合川本館で使用中又は使用済の電気機器（変圧器）の中に、低濃度のPCBを含むものが確認されたため、交換及び廃棄処分を令和5年度に適切に行う予定です。なお、法的には令和7年度末が法定期限となっています。